

# 中村高校だより

## 第 268 号

愛知県立中村高等学校 P T A  
名古屋市 中村区 菊水町1-2-18  
TEL 052-411-7760

### 生徒主体で

PTA会長 村上 隆

令和5年度PTA会長を務めさせていただきます村上隆です。よろしくお願いいたします。

今年度の5月より、コロナもインフルエンザ同様の感染法上「5類」に移行され、世の中のコロナに対する規制も徐々に緩和されてきています。同様に中村高校でも、これまで規制していた活動をどうするのか、どの様に再開するのかを考える1年になると思います。我々PTAは、できるだけ生徒目線で考え、先生方と相談しながら活動をしていきたいと思ひます。

生徒たちは文化・スポーツ・ボランティアなど様々な活動を通じて、自分自身を成長させています。中村高校は、生徒一人ひとりが自分の可能性を最大限に引き出せるように、充実した教育を提供しています。PTAは教職員との協働によって、生徒の人格形成にも力を注ぎ、学校生活をより良いものにするために尽力しています。中村高校は将来に向けた力強い一歩を踏み出すための場所になるのです。

中村高校と中村高校に関わる皆さんの更なる飛躍を願っています。



令和4年度卒業式



令和4年度卒業式

### 70周年、さらに前へ

校長 山口 哲

中村高校は昨年度創立70周年を迎えましたが、これを節目にさらに前に進んでいきます。巷では新型コロナウイルス感染症対策がかなり緩和され、学校の教育活動も活発さを取り戻しつつあります。本校には令和元年に国際理解コースが誕生しましたが、その年度末にコロナ禍が広がり、国際理解に欠かせない交流活動が大きく制限されました。ICTの進歩で、距離や時差を超えて交流する手段が手に入りましたが、オンラインでは得られない経験や気づきを与えてくれる対面での交流の大切さも、コロナ禍で再認識されました。今年度もオーストラリアのメントーン高校との相互訪問は見合わせましたが、ベトナム研修は昨年度行けなかった現2年生も参加して実施する計画を進めています。

国際理解教育は国際理解コースの生徒だけでなく、中村高校の柱の一つになります。日本には、留学などで海外へ出ていく若者が減少している問題がありますが、国際理解は海外で生活するためにだけ必要なのではありません。国内にも様々な国から来た方が増えて、身近なところに多種多様な文化、民族性、宗教をもった人々が暮らしており、その方たちを理解し尊重していかなければなりません。相手を理解するには、自分の足下がしっかりしていることも重要で、自分自身を見つめ、生まれ育った国や環境、歴史についての理解を深めることが必要です。また外国人に限らず、我々の周辺には様々な価値観をもった人たちがおり、その人たちと互いに尊重し合って共生していく、人権意識も高めなければなりません。中村高校での3年間を通じて、生徒たちの国際感覚や人権意識が高まるように努力していきますので、本校の教育活動になお一層の御理解と御協力をお願いします。

## 令和5年度 P T A 常任理事



会 長	村 上 隆 307
副 会 長	島 崎 麻 衣 201
	半 澤 美 穂 301
	早 川 美 保 308
	山 口 哲 子 校長 208
書 記	藤 川 淳 子 教頭 103
	村 山 野 朱 健 治 103
	河 鈴 木 有 名 事務長 203
会 計 監 査	寺 西 黒 橋 陽 子 106
	石 高 橋 元 直 子 教頭 102
	富 田 佳 名 子 305
生 活 委 員 長	進 路 委 員 長 307
厚 生 委 員 長	生 活 委 員 長 302
広 報 委 員 長	林 恭 子 306
	加 藤 賢 司 総務部 307

(敬称略)

## 令和5年度 P T A 常任委員会構成

生活委員	委員長 富田 佳名子 305												
	学校	1年				2年				3年			
	河野 健治	浅見利恵子	104	山本 順子	106	南島 正視	201	近藤 陽子	207	尾畑奈未代	302	堀田 英里	308
	村上規久子	柏木 幸子	104	○吉村 美奈	108	榊 直恵	202	◎杉立 千夏	207	齊藤 葉子	303		
	暮石 全光	杉浦 麻子	106			水庫 明美	205			鈴木野倫子	304		
中神 俊介	森井めぐみ	106			長尾三裕紀	206			郷司 幸子	307			
進路委員	委員長 鈴木 司 307												
	学校	1年				2年				3年			
	安藤 智紘	○高橋 恵子	104	加藤 裕子	107	廣岡 恵子	201			徳野 智美	301		
	隅田 良	上野美奈子	107	山縣 裕子	108	藤澤 久美	201			西川美映子	306		
清水 和彦	加藤 久美	107			◎上村 智子	202			中山稚枝子	307			
厚生委員	委員長 林 恭子 302												
	学校	1年				2年				3年			
	寺西 有香	何 尔朮	101	伊藤 聡美	105	石川 陽子	203	鵜飼咲知代	204	佐藤 由貴	304	森田 尚美	306
	泉 圭一	高島 未生	101	○高橋真由希	105	◎小田 景子	203			鈴木 奈緒	304	川口 寿志	308
宇佐美淳子	清水久美子	103	服部 香奈	105	早瀬みち代	203			山下有里子	304	藤田 智子	308	
広報委員	委員長 加藤 恵 306												
	学校	1年				2年				3年			
	橋元 直子	○鎌田亜希美	101	日比 亜樹	103	山下 綾乃	201	◎伊藤 智美	208	佐藤 恵子	301		
	門口 賢司	清水 春代	102	金井 友見	108	吉田 順子	204	田中 英子	208	田邊 雄一	301		
杉山 文仁	安井 典子	102			江原 和世	207			近藤 裕子	308			

◎印：副委員長 ○印：1年代表 (敬称略)

## 転 入 職 員

山口 哲 (校長) 春日井東高校 (校長) から  
 浦野 知美 (国語) 中川商業高校から  
 栗田 智子 (国語) 刈谷高校から  
 永井 勇気 (地歴公民) 加茂丘高校から  
 橋野 勝吾 (地歴公民) 惟信高校から  
 宮田 昇 (保健体育) 名古屋工科高校から  
 秋山 浩 (数学) 名古屋西高校から

杉嶋 重男 (理科) 名古屋西高校から  
 鳥居 久晃 (英語) 尾北高校から  
 森 章 (英語) 名古屋南高校から  
 宮崎 光幸 (地歴公民) 熱田高校から  
 弘中 信行 (国語) 木曾川高校から  
 山内 昌代 (国語) 熱田高校から  
 古林二千佳 (数学) 愛知商業高校から  
 堀田 勝 (理科) 旭丘高校から  
 杉原美奈江 (英語) 名古屋市立北高校から  
 浅井 美果 (事務室) 尾張教育事務所から



## 退職・転出職員



離任式

### 退職者

小川 芳範 (校長)	吉田 理恵 (国語)
水谷 淳 (理科)	戸谷 遼 (数学)
池田 達哉 (英語)	安井 彰浩 (国語)
前田 学 (地歴公民)	寺川 眞司 (英語)

### 転出者

窪田 知之 (地歴公民)	瑞陵高校
林 敦子 (保健体育)	一宮商業高校教頭
小出 賢一 (地歴公民)	南陽高校
南島 雅彦 (理科)	惟信高校
山田 健次 (英語)	熱田高校
西村 知幸 (英語)	知多翔洋高校
徳永 直実 (英語)	津島北高校
藤原 浩代 (事務室)	西春高校

## 令和4年度県高P連名南地区研修会



椋山女学院大学教授  
堀田あけみ氏 (28回生) 講演

令和5年1月27日(金)に「令和4年度愛知県公立高等学校PTA連合会名南地区研修会」が3年ぶりに開催されました。本校はホスト校として会場の設営、研修会の運営、進行役を務めました。

会場は名古屋市中村文化小劇場、中村高校28回生で椋山女学院大学国際

コミュニケーション学部教授堀田あけみ氏の講演があり、演題は「親の知らない社会との付き合い方」でした。堀田先生の実体験を基にした子供との接し方や考え方などを分かりやすく教えていただき、大変参考になりました。

実践活動発表では松蔭高等学校PTAが「部活動の盛んな進学校を支えるPTAの新たな取り組みーコロナ禍でもできることー」と題して、土曜学習会の参

加費の回収や外部模試の監督補助、文化祭への参加も再開されたなど、積極的に学校行事にPTAが参加している発表でした。

続く、南陽高等学校PTAは「想いがつながる 未来へつながるー私たちの持続可能なPTA活動ー」と題して発表、印象的なのがInstagramも使用して積極的にPTA活動を発信している事で、これからはSNSをうまく活用して学校の魅力を発信できると思いました。

名南地区研修会では他校の素晴らしいPTA活動を知ることができました。研修会で学んだことを模範にして、中村高校PTAも教職員の負担軽減も含めて学校行事に積極的に参加していきます。

(令和4年度PTA副会長 服部 利明)



## 広 場

### 子供たちのためのPTA活動を！

PTA書記 村山 朱音

令和5年度PTA書記を務めさせていただきます、村山と申します。

私はPTA役員として、小学校で2年間、他の公立高校で3年間の活動を通して、様々なことを学ばせて頂きました。その中で最も強く記憶に残っているのは、コロナ禍で学校生活が普段通りにいかない中でも、「子供たちのために何かできないか」と模索する学校の先生方やPTAの方々の姿です。私は、コロナ禍以前と同じとはいかなくても、以前の行事ができるようになりつつある今、新しい変化を受け入れながら、根幹にある“子供たちのために”PTA活動ができるように心がけていきたいと思います。

皆さんは、教室の空調設備にどれくらい学校が心を砕いているかご存じですか？先のPTA総会で会計報告があり、金額の大きさに驚かれた方も多かと思えます。各家庭で電気代が上がって家計を圧迫しているように、この大きな学校を快適にするための空調電気代は決して安いものではありません。しかしながら、子供たちが集中して学習できるように、体調を崩さないように、欠かすことのできないものとして、事務局の方々が保護者の負担を少なくするように試行錯誤していることを知りました。

子供たちを思う気持ちは学校も保護者も同じです。いろいろな方のお力をお借りしながらPTAの一員として責任をもって活動していきたいと思います。そして3年後、卒業の時にはこの中村高校が大好きになっていることでしょうか。きっと、あっという間の3年間ですが、どうぞ宜しくお願い致します。



### 新入生からのメッセージ

103 袖野 航暉

新しい環境へ希望と期待を胸に、桜が満開に咲いている中村高校の門をくぐった日から、1ヶ月が経過しました。初めは緊張しましたが、日々学校生活を送るうちに少しずつですがみんなとの仲が深まってきました。今年の中村高校には、海外帰国生徒選抜や特色推薦など、様々な方法で入った生徒が多いです。そのため中村高校には、多種多様な個性を持った人が多いです。長いようで短い3年間の学校生活の中で、時に苦しい時や衝突する時があるかもしれませんが、仲間と共に助け合いながら乗り越えていきたいです。

私達は中学校に入っすぐ、新型コロナウイルスの影響を受け、体育大会や合唱コンクールなどの学校行事が中止になるなど困難な事が沢山ありました。しかしながら、仲間と協力しながら立ち上がる壁をいくつも乗り越えてきました。その時、自ら声を上げ、行動することの大切さを身をもって学びました。だからこそ、自主性を重んじている中村高校ならどんな困難が待ち受けていても乗り越えることができる、と感じました。

時代が目まぐるしく変わる社会にいる私達が、中村高校の素晴らしい伝統を引き継ぎながら、新しい自分達の学校生活を作り上げ、楽しい学校生活を送りたいと思います。